

2013年10月10日

各 位

会社名 参天製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 黒川 明
(コード番号 4536 東証第1部)
問合せ先 コホート・コミュニケーショングループ グループマネージャー 日比貴史
(TEL 06-4802-9360)

緑内障・高眼圧症治療剤「タプロスミニ点眼液 0.0015%」の新発売について

参天製薬株式会社(本社:大阪市)は、本日、緑内障・高眼圧症治療剤「タプロスミニ点眼液 0.0015%」(一般名:タフルプロスト)を新発売しましたので、お知らせいたします。

「タプロスミニ点眼液 0.0015%」は、旭硝子株式会社(本社:東京都)と共同開発し、2008年より発売している緑内障・高眼圧症治療剤「タプロス点眼液 0.0015%」と同じプロスタグランジン F_{2α} 誘導体のタフルプロストを有効成分とする治療剤で、「タプロス点眼液 0.0015%」と同等の眼圧下降作用を有する、防腐剤を含まない一回使い捨て無菌ディスポーザブルタイプ容器入りの点眼剤です。現在、プロスタグランジン関連薬は、緑内障・高眼圧症治療における第一選択薬として最も多く使用されています。

緑内障は、眼圧の上昇などによって視神経が障害されて視野欠損が進行し、放置されると最悪の場合失明に至る病気であり、眼疾患による視覚障害(視力低下、失明)の主な原因となっています。緑内障の視神経障害および視野障害は、基本的には進行性で非可逆的であるため、眼圧の下降およびその長期にわたるコントロールが治療方法の基本です。慢性疾患で治療が長期にわたることから、防腐剤のベンザルコニウム塩化物(BAK)等に過敏症を示す患者さんや重度の角結膜上皮障害を有する患者さんには、BAK等の防腐剤を全く含有しない製剤が求められています。

参天製薬では、現在数種類の緑内障治療剤を販売しておりますが、今後防腐剤を含有しない「タプロスミニ点眼液 0.0015%」が製品ラインナップに加わることで、より多様な治療の選択肢を医療の現場に提供でき、患者さんのQOL(クオリティ・オブ・ライフ、生活の質)向上に貢献できることを期待しています。

なお、「タプロスミニ点眼液 0.0015%」の発売による、弊社の当期業績予想の修正は、予定しておりません。

「タプロスミニ点眼液 0.0015%」の主な特徴:

- ・ プロスタグランジン F_{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤で、防腐剤を含まない点眼剤です。
- ・ 1回使い捨てディスポーザブルタイプ容器入りの製剤です。
- ・ 「タプロス点眼液 0.0015%」と同じ有効成分を含有し、同等の眼圧下降作用を示します。

「タプロスミニ点眼液 0.0015%」の製品概要

製品名	タプロスミニ点眼液 0.0015%
一般名	タフルプロスト
剤型	水性点眼液
効能・効果	緑内障、高眼圧症
用法・用量	1回1滴、1日1回点眼する。
保存方法	遮光、2～8℃保存
包装	プラスチック点眼容器 0.3 mL × 30 本 (アルミピロ1袋10本入り × 3袋)
薬価	0.3mL 1個 96.90 円
保険給付上の注意	ベンザルコニウム塩化物に対し過敏症の患者又はその疑いのある患者に使用した場合に限り算定するものであること。
承認取得日	2013年1月11日
薬価収載日	2013年5月31日
発売日	2013年10月10日

製品写真



以上

参天製薬の将来見通しに関する注意事項 (Forward-Looking Statements)

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(“Forward Looking Statements”)が含まれています。これらの見通しの実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性に左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。